

令和6年度 中央区立晴海西小・中学校 外部評価報告書

評価委員：滝浪 誠 進藤 良樹 木村 英美 芳賀 幸生 萩原 裕子
渡部 志乃 荒瀬 勇太

報告書作成者：進藤 良樹 委員

評価時期 令和7年2月

1 重点目標の評価

重点目標1について 「児童・生徒・家庭・地域とともに進める学校教育の推進」

- ・児童・生徒・家庭ともに肯定的に捉えている。今回の評価はよくできたと評価できる。
- ・経営方針が明確でエネルギーにあふれており、とてもよい。具体的な構想の下、教職員も目標が実現できている。それが保護者にも伝わっているのではないかな。
- ・開校1年目で2年生以上は全員が転入生の状態で、保護者も、前の学校と比べて考えやすい。このグラフを見ると、今後の伸びが期待できる。
- ・児童・生徒が楽しんで学校に来ているのが、一番評価できる。
- ・今年度を足がかりにして、地域と学校がさらなる連携を進めてほしい。

重点目標2について 「児童・生徒が自ら未来を切り拓く力を育む教育」

- ・防災について、中央区からは基本的に在宅避難と言われている。しかし、学区の住民は全員集合住宅に住んでいる。大規模地震の際にタワーマンションに住んでいる高齢者はどうするのか、晴海西に全員が来るとなるとどうするのか、考えていく必要がある。中学生に実際動いてもらい、地域に貢献してもらいたい。

重点目標3について 「一人一人の多様なニーズに対応した教育」

- ・引っ越してきたばかりで、周囲に相談できない保護者の子育ての悩みに応えられるようにしてほしい。
- ・新しい校舎のけがや安全の面について、晴海西は施設面での安全性は配慮されてつくられている。万が一けが等あった場合、今後も初期対応を大切にしていける必要がある。

2 今後の改善に向けた意見

- ・自己肯定感について、児童・生徒の回答で、分からないという答えも多かった。自己効力感という言葉もある。肯定感だと抽象的だが、具体的な目標を定めると、高まるのではないかな。
- ・学力について、アクションベースの目標になっている。塾などでは偏差値ベースだが、学校は具体的にどうしていくのか、取組策があるとよい。学力調査などの分析をもとに授業改善を進め、児童・生徒が話し合い、議論していく授業を推進し、学びを深めてほしい。

3 その他の意見

- ・晴海西中学校へ進学する児童が、来年水泳部をつくりたいと言っていた。子供たちの声を聴いて検討してはどうか。